

校長室前掲示(6月の朝礼の話より)



2年生の上手なあじさいの作品に影響を受けて、校長室の掲示板にもあじさいの花を咲かせてみました。



6月の全校朝礼(放送朝礼)でのお話です。

一見、おいしそうに見えるおうどんも、全体を見ないとその真実は見えてきません。

当然、ミニチュアが悪いわけではありませんが、全体を見て初めてこのおいしそうなうどんは、実は食べることができないミニチュアだったんだという真実が見えてきます。しかも親指の爪ほどの大きさに作られた、実によくできたミニチュアだったんです。物事を一部分しか見ていないと真実は見えてこないのです。日々の生活の中で、友だちの行動や失敗をぱっと判断をできつく責めてしまうのではなく、「全体を見ようとする事・相手の話をしっかり聴こうとする事」が大切です。

子どもたちは日々、さまざまなストーリーの中で暮らしています。そして、その子どもたちの言動の一つ一つには必ず理由があるのです。まだまだ未完成な子どもたちは、事実の向こう側にある理由をうまく表現できないときもあります。

だからこそ、私たち大人は、客観的事実を子どもたちにきちんと示しながら、自分の思いをきちんと相手に伝えたり、自分自身をふり返ったりさせることの積み重ねが必要なのではないでしょうか。



写真は加工して掲載しています

1年のうちうちでこの時期しか見ることのできないたいへん美しい景色です。

田んぼに水が張られ、田植えまでの数日間、お天気のいい日はこんなきれいな水鏡を見ることができます。田んぼのある風景は、どこか日本の原風景を思わせてくれます。

子どもたちが今日も元気に登校してきました。
